

深川消防団ニュース



# さきもり

発行：深川消防団

所在地 〒135-0042  
東京都江東区木場  
3丁目18番地10号  
深川消防団本部

TEL:03-3642-0119  
FAX:03-3641-4422

## 消防団員と区民消火隊が共に実践的災害活動を披露！

平成 26 年度江東区内消防団点検に於いて（都立木場公園多目的広場）



さて、平成二十五年十二月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が公布・施行され、平成二十六年年度深川消防団活動指針及び事務事業計画に基づき、昨年から本格的な消防団実践訓練として、災害活動力強化、災害活動に対応した実践的な教育訓練を踏まえ団員の活動能力向上に実績として成果をあげているところです。七月の8号、十月の18号19号台

を願いますと、忙しさの中での、あつという間の一年間でした。消防団活動、地域活動、と団員は例年以上に活動を消化して参りました。国内外においては、地震、火山噴火、また、集中豪雨や台風など風水害が年々多くなる傾向です。

明けましておめでとう。  
昨年中は、消防団活動に對しまして、皆々様の多大なご支援ご協力を賜り心より感謝とお礼を申し上げます。  
お陰を持ちまして昨年中の深川消防団担当区域では大きな災害もなく、平穩無事に推移しましたことに重ねて御礼を申し上げます。



深川消防団長  
小安 勤

新年のご挨拶

風において、水防第二非常配備態勢発令に対し多くの団員が参集、地域の警戒、被害軽減に努め、特に実践的成果としてMCA無線運用技術の向上に深川消防署長にお褒めをいただきました。

地域活動として各団、地域の盆踊り、子ども祭り、特に三年に一度の富岡八幡宮神輿運合渡御が執り行われ、水掛け祭りで賑わい深川消防団特別警戒として参加致しました。

毎年行われる、平素の規律及び活動成果を披露する消防団点検、また、木場公園、深川第八中学校、明治小学校の三箇所で行われた江東区総合防災訓練等に積極的に参加、更には、歳末から入出が多くなる神社、仏閣などの年末年始消防特別警戒など団員が一致協力し、地域の皆様の安全確保に努めているところ です。

私達は、地域の消防団として「自分たちの街は自分たちで守る」という郷土愛の精神と地域の防災リーダーとして更なる地域防災力の向上と住民の安全確保に資する目的、使命を持って取り組んで参ります、皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この度、平成二十六年度の深川消防団の活動が認められ、東京都消防協会「優良表彰」を受賞致しました事をご報告申し上げます、団員の皆様方のご尽力に感謝申し上げます。

結びに、新しい年が素晴らしい一年となりますよう、皆様のご多幸とご飛躍、ご発展を心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶と致します。

平成二十六年  
江東区内消防団点検

〔都立木場公園多目的広場〕  
〔9月21日(日)〕

今年の消防団点検では、東陽中学校の生徒さんたちが活躍しました。

まず初期消火訓練のデモンストラーションに於いては元気な演技を見せてくれました。



訓練前の説明を真剣に聞き入る生徒

そのあと行われた災害訓練では、被災者を現場から助けたしから、応急手当を行ない、すみやかに安全な場所へ

搬送するといった中学生としては初めての経験でしょう、防災ボランティア、東陽5丁目東町会の皆さんと一緒にきびきびとチームワークよく救助活動を行いました。



応急手当の様子

東陽中の生徒は、部活が終わった後も校内で繰り返し訓練を行い、当日その成果を見事に披露しました。

東陽中学校生徒の皆さん、ご苦勞さまでした。

この体験をいざという時に活かしてくれる事を期待しています。

深川消防団員募集中!!  
女性の方・大学生大歓迎です

入団資格 心身ともに健康で、十八歳以上の方  
消防団の区域内に居住、又は勤務の方  
お問い合わせ 深川消防団本部(深川消防署内)  
電話 〇三(三六四)二〇二九

消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

http://www.teisoh.co.jp/ E-mail:info@teisoh.co.jp  
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

**TEISOH** 株式会社 帝国倉庫  
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防団協力事業所



株式会社 **ムトウユニパック**

代表取締役 会長 武藤 庄一

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141 (代表)  
http://www.mutoh-u.co.jp/  
支店・出張所 / 城南・東京中央・城西・横浜・千葉・四ッ谷・さいたま  
栃木・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台

江東区総合防災訓練に参加して

【深川第八中学校での訓練】

地域の安全は！まずは一歩から

10月13日、江東区総合防災訓練が「深川第八中学校校庭」で行われました。

想定 午前八時三十分東京湾北部を震源とする地震が発生した。江東区では震度6強を記録。



ライフラインに影響が出た、午前9時、深川八中を避難所として開設する事がまりました。

「避難所運営協力本部連絡会」と称し、リアルな想定の中、地域の住民、災害協力隊、深川第八中学校、深川消防団第九分団、深川消防署、深川警察署、

陸上自衛隊第一普通科連隊第三中隊、江東区防災課・危機管理課など三位一体となって協力しあい雨の中、本番さながらの実践訓練が行われました。

訓練では、江東区災害対策本部として、地域別に徒歩での参集避難訓練がおこなわれ参集後、避難所にて罹災証明書が発行され、そこで受け取ります。その後、地域ごとに分かれ避難所にある資機材格納庫、食料備蓄倉庫を確認、簡易トイレの組み立てや、給水訓練が行われました。

校庭内では、深川消防署、深川消防団第九分団、によるスタンドパイプの取り扱い訓練及び放水訓練をおこないました。

また、自衛隊による炊き出し訓練では「ホカホカのカレーライス」が参加者に配られ、それを食す。雨の中、沸き立つ湯気と温かさを感じ笑顔になった、その笑顔は、本番さながらの訓練を経験して「災害の脅威」を知ったからこそのだろう！

訓練の中で感じた事は、実際に「災害が発生した」というイメージションをどれだけリアルに感じ取り、今は現実だと思ひ訓練に取り込む事が出来るかが「命を守るため」のボーダーラインとなるのだと思ひました。

その為には、日頃からの『もう一歩の勇氣』。『もう一回の声かけ』。

『目配り、気配り、こころ配り』。という気遣いが、より地域住民の団結心を生み出すことになると思ひます。これこそが、

『安心・安全な街』づくり

へと繋がるのだと感じました

(第九分団岩淵編集員)

【明治小学校での訓練】

!! 見えない事を見る !!

11月2日、平成26年度江東区総合防災訓練が明治小学校で実施されました。深川消防署、深川警察署、江東区役所、江東区医師会、陸上自衛隊、支援ボランティア、各町会災害協力隊、自衛消防隊、深川消防団第四分団、第五分団、第六分団が参加して行なわれました。



子ども達の消火器での初期消火体験

消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に

取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。



ホテル イースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3  
03-5683-5683 (代表)  
www.hotel-east21.co.jp

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか  
分からない」

弊社の社員も消防団員として活動しています。



江東区富岡 2-1-9 HF 門前仲町ビルディング 4階

私は今回、消防団員ではなく、一般参加で、第三者的にスタンブラリーをしながら回りました。医師会によるAED取り扱い（「離れて、離れて！」の合図）応急救護、止血法など、皆さん真剣に学んでいました。スタンドパイプは、子供達には無理ですが消火器体験では「火事だあ、火事だあ」と大声で叫んでました。



11月2日明治小学校に於いて

救助資器材取り扱い、搬送法、毛布担架（足は前、坂は頭前）の体験。その他、警察広報、保健所・区役所広報、消防広報の展示コーナー、地震体験車などもありました。炊き出し訓練は、五目ご飯・麺類組合による冷や麦は、美味しかったですので、3杯も食べました。お腹もいっぱいになり、いよいよ全員参加の【防災ウルトラクイズ】に挑戦です。なかなか難しく3問目で失格し

てしまいました。

バケツリレー競争は、四班に分かれて全員でワイワイ、ガヤガヤと楽しく出来ました。残念ながら3位でした。はしご車体験が出来なかった事が心残り、腹いせに自衛隊のカレーライスを3杯食べて、消防車に乗り、記念



撮影して記念品とお土産を買って帰りました。満足!! 満足!! 防災訓練は2時間30分ですが、短く感じました。明るく楽しく、色々な体験、色々な事を学びました。皆さん、消防団員も是非一度、一般参加をしてみてください。

!! 見えない事が見えます!! 以上

(第六分団 齋藤 編集員)



平成二十六年  
東京消防庁  
総合震災消防訓練

〔深川消防団担当地域〕  
〔10月18日(日)〕

〔東京消防庁潮見訓練所〕  
救命ボート操縦訓練に参加

朝の参集訓練の後、潮見訓練所の護岸に於いて、救命ボート操縦訓練に参加させて戴きました。

私にとって、平成二十二年の辰巳排水機場での訓練後、久しぶりの船舶操縦となり、緊張感を持って臨みました。



今回は、救命ボートの組立、船外機の設置は、署員の方々によって準備されており、新たに支給された各々の救命胴衣を着用しての乗船です。途中、手漕ぎに依る訓練も行いました。みんな漕ぐペースを合わせる事、かけ声の掛け方等、実際に訓練する事で身を感じることが出来る訓練だったと思います。わずかな距離にも係らず、活動の下は汗でびしょりです。



その後、署員の方々と少し長い距離の訓練にも乗船いたしました。潮見付近の運河を進んでいくと、屋形船や大型の運搬船とすれ違う事も多く、船舶操縦の基本的なルールや引き波に対する対応等、改めて復習できる機会とな

りました。湾岸地域では、東京とは思えない程の大小多くの種類の魚を見る事ができました。

水辺から見る副都心の街並を見ながら、河川や海岸に接する低い土地に暮らしている事を再認識し、水防に対する備えと震災時の緊急輸送の手段として、

このような「訓練の重要性」を感じながら訓練会場を後にしました。

(第3分団・班長 中山勝透)

### 深川消防団 実践的活動能力向上訓練

【深川消防署裏庭】  
10月25日(土)・11月30日(日)

### 団長確認を実施!

11月30日(金)に深川消防署裏庭において、「実践的活動能力向上訓練」団長確認が実施されました。

この訓練の目的は、震災時に優先的活動となる火災に対応すべく、各分団の実戦的活動能力を向上させることを目的として実施されました。

今年度3回目になるこの日は、小安団長、阿部署長に訓練成果の確認をして頂きました。



訓練の内容は団本部からの出場指令から始まり、防火衣の着装、可搬ポンプ(手押し)・ポンプ積載車による火災出場、防火水槽による水利確保、延焼中の建物までホース延長、放水による消火要領、MCA無線の運用といった実戦に則した消火活動を行いました。

各部隊は、団長・署長の前で訓練成果を存分に披露することができました。

近い将来、起こりうる大震災から地域住民を守るために、実践的な訓練の積み重ねが必要であることを強く感じた訓練でした。

(団本部分団長 椎名貞雄)



# 消防団活動こんなカットも！



### 深川消防署庁舎開放

【深川消防署】(11月9日(日))

当日は雨の心配もある日曜でしたが天候は何とかもち、多くの親子連れで深川消防署内はにぎわいました。

朝一番から「はしご車試乗体験」の整理券に多くの子供たちが並び、高所からの景色にびっくりしていました。

また、深川消防少年団の演奏、ホースを持つての放水体験、クイズラリーなど盛りだくさんのイベントが行われましたが、中でも、消防団が配備のポンプ積載車に乗っての写真撮影が大人気でした。



### 防火の集い

【江東区文化センター】(11月18日(火))

#### 秋の火災予防運動にともなう!

第一部では火災予防運動に協力功労があった事業所や町会自治会の方々を表彰されました。

第二部には日本テレビのお天気コーナーでおなじみ木原実さんの講演がありました。木原さんは防災士の資格もお持ちで、大変わかりやすく家庭での防災対策についてご説明いただきました。講演後はソラジローではなく消防マスコットのキュータ君とツーショットになり花束を受け取りました。



### 年末年始消防特別警戒

【各分団担当区域】(12月30日～元日)

#### 洲崎神社警戒の様子 第七分団!

毎年行われる年末年始消防特別警戒は、各分団担当地域に於いての火の用心の呼びかけ、初参り客の事故防止とケガ人が出た場合の応急処置を行っています。

30日夜、深川消防団長・深川消防署長から訓示・激励を受けて元日早朝(分団地域事情により27頃～4日頃)まで警戒にあたっています。

今回は、第七分団の洲崎神社警戒の模様を写真で紹介しました。

(第一分団長谷川編集員)



形屋憲一氏が「叙勲」の栄に浴されました

新年おめでとうございます  
深川消防団の皆様、年末年始の警戒大変ご苦勞様でした。  
平成二十六年秋の叙勲に際しまして、

はからずも瑞宝單光章拝受の栄に浴しました。  
これもひとえに、先輩、同僚各位の  
お導きの賜であると深く感謝いたして  
おります。

妻・幸子とともに皇居に参内、天皇陛下に拝謁の榮譽とお言葉を賜りましたこと、感激の極みに存じております。  
これからは、一日一日を大切に、皆々様から頂きましたご懇情にやささかでもご恩返しが出来ますよう努めたいと思っております。

前深川消防団長 形屋 憲一



表彰者の紹介 合同点検以降の

◆叙勲(瑞宝單光章) 十一月三日  
前団長 形屋 憲一

◆東京都知事表彰(褒章) 十月三十日  
団本部 副分団長 菊地 常美

◆江東区政功勞表彰 十一月三日  
第三分団 副分団長 大野 浩一  
団本部 分団長 菊池 哲

◆消防總監表彰(功積章)  
団本部 分団長 椎名 貞雄

◆消防總監表彰(優良章)  
第五分団 分団長 金山 建治  
第六分団 分団長 形屋 幸子

◆江東区長表彰(勤統三十年)  
第二分団 副分団長 重田 富雄  
第三分団 副分団長 大野 浩一  
第四分団 副分団長 上岡 文雄  
第四分団 部長 藤井 康誠  
第九分団 部長 小濱 利典

◆江東区長表彰(勤統二十年)  
第三分団 部長 大澤 昇  
第四分団 部長 佃 康次朗  
第九分団 副分団長 森田 嘉智

◆江東区長表彰(勤統十五年)  
第四分団 班長 皆川 義則  
第六分団 部長 岡部健二朗  
第七分団 副分団長 木本 昌次

◆消防總監表彰  
第二分団 渡邊恵美子様  
第四分団 椎名 正美様

◆江東区長表彰(勤統四十年)  
第二分団 分団長 渡邊 美憲  
第四分団 分団長 椎名 康夫

◆江東区長表彰(勤統三十五年)  
第三分団 分団長 赤澤 光幸

◆江東区長表彰(勤統三十年)  
第二分団 副分団長 重田 富雄  
第三分団 副分団長 大野 浩一  
第四分団 副分団長 上岡 文雄  
第四分団 部長 藤井 康誠  
第九分団 部長 小濱 利典

消防署の指導者紹介

- 警 防 課  
川部 課長  
毎日勤務  
小坂 防災安全係長  
伊藤 主任  
吉原 副主任  
1部当番 佐々木 主任 坂大 副主任  
2部当番 板井 係員 小嶋 係員  
3部当番 内田 主任 今井 係員

- ◆江東区長表彰(勤統三十年)  
第二分団 副分団長 重田 富雄  
第三分団 副分団長 大野 浩一  
第四分団 副分団長 上岡 文雄  
第四分団 部長 藤井 康誠  
第九分団 部長 小濱 利典
- ◆江東区長表彰(勤統二十年)  
第三分団 部長 大澤 昇  
第四分団 部長 佃 康次朗  
第九分団 副分団長 森田 嘉智
- ◆江東区長表彰(勤統十五年)  
第四分団 班長 皆川 義則  
第六分団 部長 岡部健二朗  
第七分団 副分団長 木本 昌次

新年あけまして  
おめでとうございます  
本年も「さきもり」をよろしく願  
い致します。  
編集責任者として昨年4月より、  
本広報誌に携わって見て、編集員の  
苦勞が改めてわかりました。  
これからも、深川消防団の広報誌  
編集員の一員として制作して行き  
たいと思っております。  
団員の皆様方の、編集員への取材  
協力をお願いします。  
「さきもり編集部一同」

分団名	任	務階級	氏名
団本部	監	修 団長	小安 勤
団本部	編集委員長	副団長	岡本 繁
団本部	編集責任者	分団長	椎名 貞雄
一分団	編集補佐	副分団長	長谷川祐二
一分団	委	員 班長	能登 晴美
二分団	委	員 班長	平林 忠之
三分団	委	員 班長	中島紗江子
四分団	委	員 班長	正本 光生
五分団	委	員 班長	圓城寺正和
六分団	委	員 班長	齋藤 定信
七分団	委	員 班長	武藤 壽子
八分団	委	員 班長	庄井 勤
九分団	委	員 班長	岩淵 初美
十分団	委	員 班長	榎山美恵子

編集後記